生産性向上人材育成支援センターが

企業の人材育成をサポートします!!

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。
ポリテクセンター秋田に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練（オーダーコース）

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用などあらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、企業が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得する職業訓練です。
個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

（１）訓練実施場所
社内会議室 など

（２）訓練日数（時間数）
1～3日（６～18時間）

（３）実施定員
10名以上

（４）受講料（１人当たり・税込）
3,300円～6,600円
（IT業務改善は2,200円～4,400円）

（５）主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを利活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

業務改善に向けた課題例	訓練コースの対応カテゴリー
・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。 ・ＲＰＡを活用して業務を自動化したい。 ・テレワークを導入し業務を効率化したい。	**【生産・業務プロセスの改善】** ・生産現場の問題解決 ・実践ＲＰＡ活用 ・テレワークを活用した業務効率化　など
・従業員の仕事の効率化を促進したい。 ・リスクを低減させる方法を学びたい。	**【組織マネジメント】** ・組織力強化のための管理 ・業務効率向上のための時間管理　など
・役割の変化への対応を学ばせたい。 ・ベテラン従業員に指導の手法を学ばせたい。指導スキルを向上させたい。	**【生涯キャリア形成】** ・後輩指導力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割 ・効果的なOJTを実施するための指導法　など
・顧客満足度の向上を図りたい。 ・消費者の動向を営業に活用したい。 ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。	**【売上げ増加】** ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善 ・提案型営業手法/実践　など
・データ集計の作業を効率化したい。 ・マクロを使って定型業務を自動化したい ・集客につながるHPを作成したい	**【ＩＴ業務改善】** ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 ・集客につなげるホームページ作成　など

生産性向上支援訓練には訓練分野ごとにモデルカリキュラムがあります。研修計画の作成等にお役立てください。
ポリテクセンター秋田ホームページからご覧いただくことが可能です。

生産性向上支援訓練には
ＤＸ人材の育成を支援する訓練コースがあります！！

ＤＸ対応コースの概要

生産性向上支援訓練のカリキュラムのうち、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材育成を支援する訓練コース（58コース）をＤＸ対応コースとして設定しています。

ＤＸ対応コースでは、生産性向上支援訓練の訓練分野や訓練目的とは別に３つの課題ごとに整理した47コース、企業のデジタル化を下支えするネットワーク・セキュリティに関する８コース、ＤＸによる企業変革の有用性を理解し、ＤＸ推進のポイントを習得する３コースを共通領域として設定しました。
※モデルカリキュラムではＤＸ対応コースに該当するコースに DX を付しています。

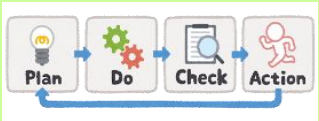
共通領域（11コース）

ネットワーク・セキュリティに関する８コース

ＤＸの推進による企業変革の有用性を理解し、ＤＸ推進のポイントを習得する3コース

３つの課題（47コース）

デジタル化と新しい生活様式の課題対応



業務プロセスの課題への対応

ビジネスモデルの課題への対応

オープンコース（公開型の訓練）のご案内

広く受講者を募集する公開型のコース（オープンコース）で、年間２５～３０コース実施します。
他社の従業員と一緒に受講することで、「自社の強みや課題の気づきにつながった」等のご意見をいただいております。
オープンコースの実施日程は当センターのホームページまたは募集リーフレットをご確認ください。

訓練受講までの流れ

オーダーコースの場合

課題や方策の整理	•センター担当者が貴社を訪問し、人材育成に関する課題や方策についてお伺いします。
↓	
訓練コースのコーディネート	•相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースをご提案します。
↓	
訓 練 受 講	•利用申込書を提出後、所定の期日までに受講料の納付等の手続を済ませて、訓練を受講していただきます。

オープンコースの場合

受講コースの決定	•ホームページ、募集リーフレットから、受講希望コースをお選びください。
↓	
受 講 申 込	•受講申込書にご記入の上、ＦＡＸでお申し込みください。
↓	
訓 練 受 講	•所定の期日までに受講料の納付等の手続を済ませて、訓練を受講してください。

生産性向上支援訓練に関するお問い合わせ先

秋田職業能力開発促進センター（ポリテクセンター秋田）
生産性センター業務課　電話018-873-8036

ホームページにて公開中。下記URLでアクセスできます。
https://www3.jeed.go.jp/akita/poly/biz/seisan.html